

# 帰国生徒教育 道徳科学習指導案

国立大学法人愛知教育大学附属名古屋中学校

帰国生徒教育研究主題

グローバル人材育成に向けての帰国生徒教育  
－特性の伸長・活用を促すことを通して－

第2時限（10:25～11:15 オンライン）

縦E組（3学年合同）

主題名 国際社会における役割と責任 C-(18)国際理解, 国際貢献

授業者 井上 純一（T1）

今田 貴大（T2）

〈実践のねらい〉

本時の把握する場、実践をする場において、国際社会の問題について考え、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。後日、振り返る場を設定し、本時で考えた解決方法を試し振り返らせることを通して、新しい価値を創造する生徒を育成することができたかを、授業プリントや振り返りプリントの記述から検証する。

授業公開後、協議会・情報交換会を引き続き実施します。

## 縦E組（3学年合同）道徳科学習指導案

令和3年10月7日 木曜日 第2時

指導者 井上 純一 今田 貴大

場所 国際理解室

1 主題名 国際社会における役割と責任 C－(18) 国際理解，国際貢献

2 主題設定の理由

(1) 価値観

グローバル化が進展する中で，様々な文化や価値観を背景とする人々と相互に尊重し合いながら生きることが一層必要となってきた。私たちは，相互依存関係の中で生きており，我が国が国際的な関わりをもつことなく孤立して存在することはできない。今日，私たちが抱える問題は地球規模で解決していかなければならない問題であり，自分の国のことだけを考えるのではなく，国際的視野に立って国際理解に努めることが必要である。すなわち，国際社会の問題に関心を持ち，世界の平和と人類の発展のために何ができるのかを考える態度を養っていくことが大切である。

(2) 生徒観

中学生の時期は，他教科との学習とも相まって，世界の様々な国に対しての興味関心が高まってくる。学年が上がるにつれて，諸外国の政治・経済・文化を始めとした様々な分野の知識も積み重なるようになり，より一層，世界の人々と関わり，異文化への理解を深める機会を得たいという気持ちが大きくなる。

本校の帰国生徒は，国や年数に違いはあるものの，一様に在留国で生活し学んだ経験をもっている。学校生活においても在留国で学んだ特性を生かして，積極的に活動に取り組んでいる。7月には主題を「異文化を理解し，自己を高める」として，3学年合同の道徳科の授業を行った。そこでは，日常生活における日本人と外国人の考え方の違いによる問題事例について帰国生徒特有の経験を基に話し合うことで，自国・他国の文化や習慣を尊重し，多様な価値観を認めることが異文化理解につながることに気付くことができた。そして，それらを意識してよりよい生活を築くための方法を考えることができた。そこで，本時では，国際社会の問題に広げて，在留国で学んだ特性を表出したり，自分とは異なる特性を認識したりすることを通して，新たな価値を創造し，自分にできる国際貢献を考えさせていきたい。

(3) 教材観

本教材「そのこ」（「新しい道徳3」東京書籍）は，遠く西アフリカのガーナでカカオを収穫している「そのこ」と，日本にいる「ぼく」の日常生活の様子を対比しながら描いた詩である。国際社会の問題である児童労働について，世界の現状に関心をもってほしいという作者の思いが感じられ，読む人の心に訴えかける教材である。

指導に際しては，児童労働などの国際社会の問題は，その国の経済状況や文化的背景によるところがあり，解決策がすぐには見つけ出せない問題であることを認識させる。その上で，児童労働に従事している子どもたちが安心安全で平和な生活を送れるようになるために，どうすればよいのかを考えさせていく。この教材を通して，世界で起こっている問題について関心をもたせ，世界に生きる一人の人間として，国際社会における責任と役割について考えさせていきたい。

### 3 本時のねらい

国際社会の問題について考え、世界の平和と人類の発展に貢献しようとする態度を育てる。

### 4 準備物

- ・教師・・・ワークシート，パソコン
- ・生徒・・・道徳ファイル，Chromebook

### 5 学習指導過程

	学習活動	指導上の留意点
把握する場	<p>1 探究テーマを提示する。 「世界の人々が幸せになるために、私ができることを考えよう」</p> <p>2 在留国での生活について、不平等を感じた経験を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在留国の都市部と農村部では、貧富の差が激しかった。</li> <li>・在留国では、人種によって、言葉による差別があった。</li> <li>・在留国では、女性の地位が低かった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に在留国の経験について、Googleフォームでアンケートをとる。</li> <li>・1～3学年が必ず入るように4～5人のグループを作る</li> <li>・在留国の経験を基に話し合わせ、自己の特性を表出させたり、自分とは異なる特性を認識させたりする。</li> <li>・T2は、自分の意見が言えない生徒に発言ができるように支援する。</li> </ul>
実践を	<p>3 教材「そのこ」を読み、児童労働の問題について考えを深める。</p> <p>(1) 教材から感じたことを自由に伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校に行かずに働かなければいけなくてかわいそうに思った。</li> <li>・子どもが働かなければいけないほど、家庭が貧しいのだろうか。</li> </ul> <p>(2) そのこのみらいのために、できることと理由を考えて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募金をしたり、衣服を送ったりする。 →在留国では困っている人のために募金をすることが当たり前だったから。 →お金や物資を送ることでそのこの生活が改善されるから。</li> <li>・政府が児童労働を禁止させる。 →在留国では、児童が働くことは虐待と見なされて親が罰せられるから。 →学校へ行くことで必要な学力を身に付けることができるから。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドを使って内容を把握させ、児童労働の問題について補足する。</li> <li>・自分の考えをワークシートに記述し、グループで話し合わせる。</li> <li>・在留国での経験を想起させながら記述させる</li> <li>・グループで出された方法がそのこのみらいにつながるかを考えさせる。</li> <li>・T2は、話し合いに戸惑っている生徒を支援する。</li> <li>・グループでまとめたものをロイロノートのクラゲチャート</li> </ul>

<p>す る 場</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が技術援助をして助ける。</li> <li>→在留国では，貧困国への人材派遣が盛んであり，技術を伝えることがその国の未来につながると思うから。</li> <li>→技術を継承する方が持続的な発展につながるから。</li> <li>・フェアトレードを普及させる。</li> <li>→在留国では，フェアトレード商品が普及しており，世界に広まれば貧富の差は生まれないと思う。</li> <li>→労働者に適切な賃金を支払うことができ貧困を解消できるから</li> </ul> <p>4 世界の人々が幸せになるために大切なことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の情勢について，正しく理解すること。</li> <li>・世界の問題に関心をもち，自分の生活と関わらせて考えること。</li> <li>・自分のことだけを考えるのではなく，相手を思いやる気持ちをもつこと。</li> </ul> <p>5 世界の人々が幸せになるために，自分ができることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界で起こっている問題について本やインターネットで学び，学校祭に生かす。</li> <li>・困っている友達がいたら，手助けをする。</li> </ul>	<p>に書き込み，全体に共有させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界の人々が不平等なく幸せな生活を送るために何を大切にすればよいかを考えさせる。</li> <li>・自分の考えをワークシートに記述させる。</li> <li>・記述したことを基にグループで交流し，探究テーマを解決するために，価値観を共有したり組み合わせたりすることで自分の考えを整理する。</li> <li>・数名に発表させ，共有させる。</li> <li>・大切なことを基によりよい解決方法を考え，具体的にどう行動するかをワークシートに書かせる。</li> </ul>
----------------------	---	---

後日、「振り返る場」を設定し，自分の出した解決方法を試してみてどうだったかを振り返りシートに書かせる。

## 6 本時の評価

国際社会の問題について考え，世界の平和と人類の発展に貢献しようとする気持ちを高めて，行動に移そうとする。

「国際社会における役割と責任」

( )年 E組 ( )番 名前( )

探究テーマ

**世界の人々が幸せになるために、私ができることを考えよう**

1 そのこのみらいのためにできることを考えて書きましょう。

【自分の考え】	【仲間の考え】
【理由】	【理由】
【最終的な自分の考え】	

2 世界の人々が幸せになるために大切なことは何だろうか。

【自分の考え】	【仲間の考え】
【最終的な自分の考え】	

3 2の考え方を基にどのように行動しますか。



--

## 探究テーマの振り返りプリント

( ) 年 E組 ( ) 番 名前 ( )

在留国で学んだことや、育んだ見方や考え方を「特性」と言います。特性を意識して、1週間前に行った道德の授業「国際社会における役割と責任」を振り返りましょう。

1 探究テーマの解決方法を考える上で、在留国での経験が生かせましたか。

全く生かせなかった      あまり生かせなかった      大体生かせた      十分に生かせた

【      1      ・      2      ・      3      ・      4      】



【生かせなかった理由を書きましょう】

【どんな経験だったかを書きましょう】

2 他の子の意見を聞いて、自分の考えに影響を与えた意見はありましたか。また、それはどんな意見でしたか。

全く影響がなかった      あまり影響がなかった      影響があった      とても影響があった

【      1      ・      2      ・      3      ・      4      】

【影響があった意見を書きましょう】

3 探究テーマを基に実際に行動できましたか。

全く行動できなかった      あまり行動できなかった      行動できた      とても行動できた

【      1      ・      2      ・      3      ・      4      】

4 実際に行動した（行動しようとした）結果、感じたこと気付いたことはありますか。自分の特性の長所や短所について関わって書いてみましょう。